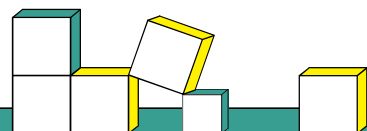




まちの話題

Town topics



5/11

オーストラリア派遣研修（Let's 豪夢大陸）帰国報告会

若狭町と若狭町国際交流協会主催のオーストラリア派遣研修（Let's 豪夢大陸）の帰国報告会がパレア若狭で行われました。

本研修は毎年実施されていましたが、新型コロナウイルスの影響で2020年からは中止されていました。5年ぶりの実施となった今回は、町内の中学3年生から高校3年生までの27名が参加し、8日間の行程の中で、ホームステイや学校訪問を通して英語や現地の文化などを学びました。

報告会では、日本とオーストラリアの文化の違いや、英語で積極的にコミュニケーションをとることの大切さなど、それぞれが研修を通して感じたことを発表しました。

発表を聞いた松宮教育長は、「皆さんの報告を聴いて、8日間での成長を感じることができた。今後もこの研修が続くことを願っている」と話しました。



5/15

三方小学校「ゆりかご米」田植え体験

三方小学校4～6年生の児童76名が、鳥浜にある学校田で無農薬の「ゆりかご米」の田植えを体験しました。農家の松村光洋さんの指導のもと、児童たちは泥だらけになりながら丁寧に苗を植えた後、水を張った水田に魚の卵がたくさん植え付けられたシュロの皮を沈め、魚たちの成長を願いました。

この取り組みは、多くの川がコンクリートで護岸化された影響で数を減らしているフナやコイといった魚を増やすことを目的として行われており、今年で4回目となります。

田植えを終えた児童は「田植えは足が抜けなくて大変だった。この田んぼで無事魚が大きく育ってほしい」と話しました。

この水田で育った魚は、一定程度成長した後、湖へ放流する予定です。



5/16

鳥羽小学校 自動抑草ロボ「合鴨ロボ」見学

鳥羽小学校5・6年生の児童27名が、三田にある学校田で自動抑草ロボット（合鴨ロボ）を見学しました。

鳥羽小学校では北陸農政局、JA、地元農業法人、農業機械メーカーらと連携して「スマート農業」について学んでおり、今回の見学はその取り組みの一環として行われました。

合鴨ロボはスクリーンの水流で田んぼの土を巻き上げてにがらせることで、太陽光を遮って雑草の成長を阻害します。実際に合鴨ロボが動き出すと、児童たちはロボットの動きや、操作用タブレットの情報に興味津々な様子でした。

合鴨ロボを販売する株式会社サセキ関西中部の植田浩之さんは「スマート農業を学ぶ中で、少しでも農業に興味を持ってくれる人が増えてくれれば」と話していました。



5/22

東洋大学と連携協定を締結

行政運営に民間のノウハウを活用する等、公民連携による持続可能なまちづくりを目指して、若狭町は東洋大学と協定を締結しました。

5月22日に東洋大学白山キャンパス（東京都）で行われた締結式では、若狭町長と東洋大学の安齋隆理事長が協定内容の確認書にサインしました。

東洋大学は世界で唯一、公民連携を専門とする大学院や研究センターを設置しており、町は大学からの助言をまちづくりに活かしていくとともに、民間企業との連携を積極的に進め、効果的・効率的な公共サービスの運営や人材育成に取り組めます。

渡辺町長は「協定締結を機に、幸せと豊かさを実感でき、希望の持てるまちづくりを、より一層進めていきたい」と挨拶しました。



5/26

「大の里関」に梅干しトロフィー・梅干し1年分贈呈

大相撲夏場所で優勝した小結「大の里関」に福井ウメ振興協議会から「福井県賞」として、「梅干しトロフィー」が贈呈されました。

贈呈は1986年から行われていますが、2020年からは新型コロナウイルス感染症の影響で表彰式には出ておらず、今回の贈呈は5年ぶりとなります。

千秋楽となった26日の両国国技館（東京）では、大勢の観客の中、同協議会の会長を務める渡辺町長が土俵に上がり、優勝した大の里関にトロフィーを手渡しました。また、同協議会からは、大の里関に梅干し1年分が贈呈されます。



読者からの声



広報わかさ4月号(P8)に「若狭町子ども・若者サポートセンター」の記事を掲載したところ、次のような声をいただきましたので紹介いたします。

私の子どもも、不登校になったことがあります。子どもが家に引きこもるようになったころは、親も悩むばかりで、逆に子どもを追い詰めてしまっていたのではないかと思います。何とかしなければと相談機関に足を運び、お話を聞くうちに、「義務教育だから子どもは学校に行かなければならない」という思いから解放され、子どもに寄り添うことができるようになりました。そして、親自身が変わることで、子どもが変わり始めることに気づきました。

不登校やひきこもりのことで悩んでいらっしゃるご家庭がございましたら、一人で悩まずに「若狭町子ども・若者サポートセンター」のような相談機関に相談してみることも、よいことではないかと思い手紙を書かせていただきました。

社会教育委員ってなに??

ビバ! みそみ! 若狭町社会教育委員 斎藤勢津男

私は、社会教育委員として、主に公民館や地域づくり協議会活動に参加し、地域の皆様に笑いと元気を届けられるよう活動しています。みそみ地域づくり協議会では、地域を盛り上げるため、独自のタオルを作成しました。タオルに描かれている「みそみん」と「ナンシー」は美方高校美術部と公民館がコラボして生まれたイメージキャラクターです。二人にみそみ地域の紹介をしてもらいます!



わしは三十三間山の守り神で標高にちなんで842才の「みそみん」じゃ。三十三地区は2千人余りが元気に暮らす地域で、元々は10の集落からなる十村と言ったが、現在は11の集落が散在している。住民の気質は真面目で温厚なうえ、三十三間山の豊かな自然環境を守ろうと取り組む、郷土愛の強い人たちがじゃ。あとはナンシー食レポよろしくじゃ。

私は特産梨の妖精3年3組の「ナンシー」。食のおすすめは毎月行われるみそみ朝市! 行列ができる人気スポットよ。特産の梨は甘くてジューシーで最高よ。



人々が生き生きと輝いている。そんな地域のための応援こそが社会教育委員の役割と考えています。



◀地区のイベントで太鼓を披露する
斎藤勢津男さん

教育委員会事務局 ☎0770-62-2731

若狭町20年の記憶

～町の歩みを振り返る～



若狭路を颯爽と――



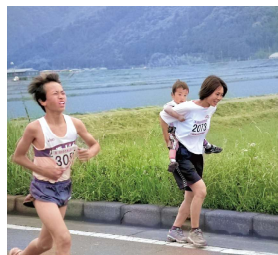
第1回わかさあじさいマラソン開催

2005年6月5日(日)、野木小学校グラウンドを出発点に「第1回わかさあじさいマラソン」が開催されました。1,378人の参加者は、涼しい絶好のコンディションのなか、「2km・3km・5km・10km・ハーフ」の5部門に分かれ、豊かな自然を肌で感じながら、思い思いの走りで楽しみました。

ゲストランナーとして、箱根駅伝で4連覇を達成した「駒澤大学陸上競技部」の3選手が10kmの部に参加しました。その中の1人の中西選手は美方高校出身で、「今日ここに来るまで若狭町になったことを知りませんでした」とあいさつする一面もありました。



▲(左から) 大八木監督、糟谷悟選手、風見尚選手、中西良太選手



▲参加者の様子

問い合わせ

総務課 ☎0770-45-9109



食で育む、人と地域



町の食育と地産地消についての情報をシリーズで皆様にお届けします。
町民の皆さんが生涯にわたって健康で豊かな人間性を育むこと、また、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践する力を育む食育※の推進と、町の農林水産物、環境、食文化を次世代へつなげる地産地消の推進を目的に、令和6年3月に「第3次若狭町食育地産地消推進計画」を策定し、基本理念と基本方針決めました。

基本理念 ころもからだも健康に、安心安全に暮らせるまちへ ～食でつながるSDGsの実現～

基本方針

①健全な食生活と健康の増進

→ライフステージに応じた健康教育

②豊かな自然と生命に感謝し食について楽しく学ぶ

→家庭、保育所、学校、地域における食育活動の実施

③安心安全（持続可能）な食環境づくりと地場産食材の利用促進

→地場産品利用促進と持続可能な環境づくりに関する食の取組

※「食育」とは

生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けられるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるもの。

毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」です。いつもより少し食について考えてみませんか？

- ・毎日朝食を食べよう！
- ・誰かと一緒にご飯を食べよう！（共食）
- ・ふるさとの味を食べよう！伝えよう！（伝承・郷土料理）
- ・地場産食材を食べよう！（地産地消）
- ・食べ残しを減らそう！（食品ロス削減）
- ・環境に配慮した食品を食べよう！（フードマイルズ運動等）



問い合わせ 産業振興課 特産振興室 ☎0770-45-9102

診療所だより



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



毎日の歯磨きと定期的な検診で、健康を維持しましょう



歯科検診予約受付中

上中診療所歯科 ☎0770-62-1447

歯周病を起こす細菌は口の中の血管に入り込み全身を駆け巡り、いろんなところであなたの健康を脅かしています。

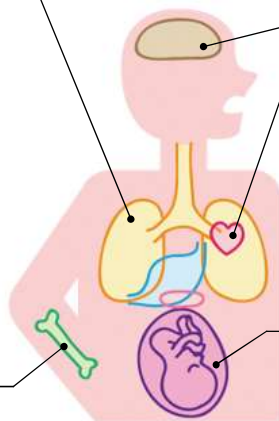
誤嚥性肺炎

歯周病菌が肺に侵入して肺炎を引き起こす、高齢者の死亡率の高い病気です。

糖尿病

全身を侵す代謝障害である糖尿病が、歯周病を悪化・重症化しやすくします。

その他・骨粗鬆症
・認知症
・ガン etc..
も関わりがあります。



心内膜症・血管の病気

血液中に入り込んだ歯周病菌により動脈硬化が起きたり、心筋梗塞や脳梗塞など、血管障害を引き起こします。

胎児の低体重・早産

妊産婦の口腔内状態が悪いと、歯周病の菌が増殖し、その影響で早産や低体重児出産を引き起こすことがあります。

福井県歯科医師会資料・参考

問い合わせ 健康医療課 上中診療所 ☎0770-62-1188

若狭 ブラスフェスタ 2024

輝け、青春のブラスサウンド



2024年
8月18日[日] 開場/12:30
開演/13:00

パレア若狭音楽ホール

指定席 一般 500円 高校生以下 100円 ※3歳以下入場不可

- チケット料金は、公演協力金として出演校の本公演活動費に充当させていただきます。
- 本公演の録音・録画・写真撮影は、すべて禁止いたします。

チケット
発売

【町民先行】6/15(土) 窓口9:00~ 電話13:00~
【一般・WEB】6/22(土) 9:00~

チケット販売・お問い合わせ先 パレア若狭チケットカウンター
TEL.0770-62-2506

受付時間/9:00~18:00 (火曜日を除きます)
福井県三方上中郡若狭町市場18-18 <https://parea-wakasa.jp>

託児所 **有料** をご希望の方はご相談ください

【対象】1歳~未就学児 【申込締切】8月4日(日)

パレア若狭webサイトから
チケットが購入できます
※8/11(日)18:00まで



出演

大谷中学高等学校吹奏楽部
美方高等学校吹奏楽部



主催/ wakasa 若狭町 後援/ 福井新聞社